

横浜国立大学留学生による自国文化紹介

第24弾！中華人民共和国（重慶市）の紹介

自己紹介



シュンギさん

中華人民共和国出身の呉 俊儀と申します。

横浜国立大学で経済学を専攻しています。日本に来て2年が経ちました。

趣味は音楽鑑賞・読書・旅行です。

僕の出身地である「重慶市」をご紹介しますので、ぜひご覧ください！

重慶市の紹介

重慶市は中国内陸部の南西部に位置し、長江上流で最大の都市です。

人口は約3,205万人、その内、都市部人口は約2,112万人です。

重慶市は山に囲まれているため、山の都市「山城」と呼ばれ、

冬はかなり暖かいです。夏はとても暑く感じます。

最高気温40℃になることもあります。

また、日照時間が短い大都市の1つで、霧の深い日が多いため、

「霧の都」とも呼ばれています。



重慶市の風景

おすすめの料理

重慶市で一番有名な料理は、何と言っても「火鍋料理」です！

重慶市は火鍋料理発祥地の1つで、多様な材料を使って新しい料理を創作することが特徴です。

皆さん、「麻辣」という言葉を知っていますか？実は、「麻」と「辣」はそもそも違う味です。

「麻」は四川産胡椒の味・「辣」は唐辛子の味です。

火鍋料理はこの「麻辣」と牛脂をベースとした鍋つゆ、野菜、鶏肉、魚、牛センマイ(ホルモン)などを入れて煮込み、薬味を入れたごま油をつけて食べます。

「烤鱼」もおすすめです。それぞれのお店(家庭)で独自のレシピを持っていますが、一般的な作り方を紹介します。魚は揚子江の淡水魚を使用し、まずグリルの上で焼きます。香料・唐辛子・山椒・ソース・野菜と一緒に煮込みながら食べます。



重慶火鍋



重慶烤鱼

おすすめのスポット

「天生三橋」はおすすめの場所です。

2007年の世界遺産「中国南方カルスト」の一部となっている

天生三橋は、1億年前の地殻変動で天然アーチ状となったカルストが3カ所集まっています。峡谷には3つの橋がかかっており、石橋の Spann と峡谷の底までの距離はいずれも100メートル以上あります。3つの石橋が峡谷の両岸の山を一つにつなぎ、「三つの橋が二つのくぼみを挟む」という奇妙な景観を形成しています。石橋の間に挟まれたくぼみは、「天坑」とも呼ばれており、「トランスフォーマー4」等の映画のロケ地として使われたことでも有名です。



天生三橋

私から見た横浜市の魅力

みなとみらいの夜景は日本一と言っても過言ではないと思います。

街全体が川に囲まれた重慶市は、横浜市と同じく「都市夜景」が有名で、違った雰囲気味わえますが、横浜市の夜景は重慶市以上だと思います。

横浜市の街並みも大好きです。友人と中華街で食事をした後、海辺を散歩したり、山下公園を通ってみなとみらいまでよく歩きます。また、春になると、山下公園にバラの花が咲き、私の一番好きな景色です。



重慶市の夜景



横浜市の夜景

一言

横浜市はとても住みやすい都市だと思います。海も山もあり、美味しいものも美しい景色もいっぱい、横浜は私が一番好きな日本の都市です。

保土ヶ谷区は静かでのんびりしていて、夜、山から見る横浜の景色が印象的です。